

### 第15回日本製薬医学会年次大会開催のご報告



2024年7月26日～27日の2日間にわたって第15回日本製薬医学会年次大会が開催されました。今年度は十数年ぶりの関西での開催、大阪道修町近くのライフサイエンスハブ・ウェストでの開催となりました。はじめての会場での開催であり、ご参加のみなさまへ何かとご不便をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

盛夏の大阪での開催になりましたが、おかげさまで過去最多の参加登録をいただき、皆様の積極的なご参画、ご協力を賜り、盛況のもとに会を終了することができました。

あらためまして、現地参加の皆様、ウェブでご参加いただいた皆様、セミナーとブースにご協賛いただきました企業各社の皆様、そして何より内容の深いご講演をいただきました演者の皆様に、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。

第15回年次大会大会長 小森 英寛



大会初日は開会式、ランチョンセミナーに続き、本学会と臨床試験学会の共催セミナーとMedical Affairs部会セッションが開催されました。両会場とも多くの現地参加者が集まって、活発な討論が行われました。

続く大会企画セッションでは大阪開催ということで関西部会のメンバーが座長を務め、関西にゆかりのある演者の皆様のご講演がありました。教育部会セッションでは国際製薬医学会 (IFAPP) のプレジデント Varvara Baroutsou氏を含む複数の演者の皆様からIFAPP fellowshipの魅力が紹介されました。イブニングセミナーに続いて開催された大会長招聘講演では南 学先生 (PMDA医務管理官・理事長特任補佐)から「製薬イノベーションにおけるPMDAの役割」と題したご講演をいただきました。

大会初日に会場で懇親会を開催するのは例年にない試みでした。吉川親奈さんのグラフィックレコーディング作品についてプレゼンテーションがあり、続けて、IFAPP fellowship受賞記念式典を行いました。今回受賞された15名の学会員の先生方を表彰し、記念品を授与させていただきました。

2日目も朝から大変な暑さでしたが、小森大会長による講演に多くの参加者が集いました。Medical Affairs部会セッション、本学会と医薬品開発能力促進機構との共催セミナーも盛況でした。2日目のハイライトは医薬発明家 上野隆司先生による講演でした。穏やかでユーモラスな語り口ですが、本質を追求することの重要性を様々な角度からご説明していただいた講演でした。

IFAPPセッション、そして、臨床開発部会セッション、Medical Safety部会セッションで幕を閉じましたが、2日間があっという間にすぎたと感じられる、例年に増して中身の濃いプログラムでした。



さて、9月2日から大会の内容のオンデマンド配信が開始されております。参加登録いただいたメールアドレスへ配信URLをお送りさせていただきました。参加者の皆様は9月30日までの1か月間視聴可能の予定です。当日ご参加できなかった方も参加登録の上ご視聴いただくことは可能です。詳しくは年次大会HPでご確認ください。

<https://japhmed.jp/japhmed2024/registration.html>

なお視聴リンクを社内メールで転送したり、スクリーンショットした画面を無断流用するといった行為は参加費を払っている皆さま、演者の先生方にとって大変不愉快に感じられます。絶対にお止めください。もしそのような事例を発見された方は事務局までお知らせ下さい。

来年の日本製薬医学会年次大会もすでに日時と場所が決まっております。

日時：2025年7月25日（金）・26日（土）

場所：東京日本橋ライフサイエンスハブ

本年度ご参加いただきました皆様と来年もお目にかかれることを楽しみにしております！